

事前質問とその回答

資料 No	質問	回答
資料 2	・「取り組みの方向と目標」の成果 (○)・課題 (□) について ○と□の区別が難しい。	・ご意見を踏まえ、検討します。
資料 2	・事業等の実施状況について日時や回数等を具体的に記載すべき。	・特定の事業などに絞った検討を行う際には個々の事業について細かく記載、検討を行いますが、こちらの資料については計画策定過程において、多岐にわたる障害者支援を網羅し、全体を俯瞰していただくために、概要のみ記載しています。
資料 1—④	・住まいの支援について、具体的にどのような支援をするのか。	・次期計画で取り組む内容を、次回委員会でご議論いただく計画素案 (案) でお示しします。
資料 1—⑩	・障害者別に何人就労しているのか。現状と目標を示してほしい。	・就労移行支援 令和 4 年度実績 身体：8 人 知的：35 人 精神：86 人 目標数値については計画素案 (案) でお示しします。
資料 2	・成年後見制度の利用促進については具体的にどのような事項を検討するのか。	・次期計画で取り組む内容を、次回委員会でご議論いただく計画素案 (案) でお示しします。
資料 2 (1—②)	・8050 問題や高齢障害者等の支援等での情報共有や連携を推進→どういった取り組みが行われたのか。 ・主任相談支援専門員を配置・増員→実績を示してほしい。 ・デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進計画・推進アクションプランとは。	・自立支援協議会、障害児者福祉施設協議会、障がい者児のための教育・進路懇談会で説明会等を行った。 ・令和 4 年に 3 人から 4 人へ増員。 ・働き方改革、新たな生活様式への対応も踏まえ、デジタル技術を積極的に活用して市民サービスの向上を図ることが急務となっていることから、デジタル技術が地域社会へ浸透し、様々なサービスやデータが活用されるデジタル・トランスフォーメーション (DX) を推進するため「寝屋川市デジタル・トラ

		<p>ンスフォーメーション (DX) 推進計画」及び計画の取組に係る内容や目標値等を定める「寝屋川市デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進アクションプラン」を策定したところで。</p>
資料2 (1-③)	<p>・障害や合理的配慮などへの理解を広げる啓発・研修を継続的に実施→実績を示してほしい。</p>	<p>・令和4年度 精神障害者理解啓発イベント「フェスタ」、精神障害者ホームヘルパー研修 (年2回)、ペアレントメンター研修会、 発達障がい講演会、「障害者別解消法について」YouTube 配信 ・教育委員会の研修については、教員のキャリアステージに応じて計画・開催し、今年度は計7回を実施予定しております。</p>
資料2 (2-④)	<p>・入院中から面接等を行い、地域生活に向けた調整を実施→実績を示してほしい。</p>	<p>自立支援協議会の参画機関で現在5名の方と関わっている。そのうち1名は令和4年から地域で生活している。</p>
資料2 (3-⑦)	<p>・令和6年4月より児童福祉法の改正と、公立子ども園の設立と大きな変化があるが、寝屋川市の方向性を示してほしい。 (障害児支援について)</p>	<p>・児童福祉法の改正により、児童発達支援センターが地域における障害児支援の中核的役割を担うことの明確化や、障害種別にかかわらず障害児を支援できるよう、類型 (福祉型、医療型) の一元化が明記されています。 その役割を果たせるように引き続きセンターと協議を進め、また一元化に関しては、これまでの施設機能は据置き、多職種が支援できる体制を継続します。</p>
資料2 (3-⑧)	<p>・令和4年4月27日の文科省通知 (特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について (通知)) の影響について今後の見通しを示してほしい。</p>	<p>・インクルーシブ教育システムの理念を構築するための方針であると認識し、寝屋川市の現状を見直す良い機会として捉え、保護者の願いや子どもたち一人一人の教育的ニーズを踏まえ、子どもたちに寄り添った取組をすすめていきます。</p>
資料2 (5-⑭)	<p>・移動支援事業所の数 (児童、成人それぞれ) (寝屋川市内)</p>	<p>・令和5年11月時点で50箇所の事業所と契約していますが、児童・成人の区別はありません。</p>

<p>資料2 (5-⑮)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反射鏡の手入れはどのようになっているのか ・ヘルメットについて市からの補助金等はあるのか、また、高齢者、障害者への配慮はなされているのか。 ・個別避難計画と具体的にどのような内容か。事業所も連携できるようなものなのか。 ・災害時の要支援者避難行動計画の進捗状況、障害のあるかたの訓練の参加状況は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民より通報があった際や道路パトロール中に発見した際にその都度対応している。(道路管理課) ・補助金事業はありません。 ・災害時避難行動要支援者に対して、災害の際の避難支援者や避難場所、その他留意点など、避難支援等に必要な事項を個別に策定するものです。その策定にあたっては市町村が、関係者と協力して作成することとされています。 ・個別避難計画の策定については、庁内連携会議を設置し、策定に向けた協議を進めております。障害のある方の避難訓練等への参加は今のところ聞いておりません。
<p>資料2 (6-⑰)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドヘルパー養成研修を実施されているが、受講生が減少しているとのことで、行動援護従業者養成研修や、同行援護従業者養成研修など、内容の変更で受講対象者を広げてみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の状況を踏まえ、府や他自治体の状況を見ながら、事業のあり方を含め検討します。
<p>資料3、4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象人数(アンケート発送人数)を示してほしい。 ・前回調査時から変化のあった点、特徴的な傾向等を示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者：3451人 市民：1457人 ・現在集計中です。